様式第４号（教員個人に関する書類）

②教育研究業績書

平成 30 年 5 月 1 日

氏名　　鴨志田(土橋)　加奈　　印

認定を受けようとする課程における担当授業科目			
領域及び保育内容の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育に関する科目
・　保育内容表現（単独） ・　言葉と表現の指導法（クラス分け）			

教育上の能力に関する事項		
事項	年　月	概要
1　教育方法の実践例	平成 23 年９月～25 年３月	東京家政大学短期大学部保育科後期開講「保育総合表現」120 名に対して、ダンス指導についての実践的な学びを促進する体験型授業への取組みを実施した。ダンスの創作と実演を通して、学生自身が自発的動機を持って生き生きと踊るという経験をさせると同時にダンス指導におけるポイント（共感的学習環境の重要性、相手の身体技能にあった振付の重要性など）を体験的に学習させる授業を実施した。
	平成 24 年４月～25 年３月	東京家政大学共通教育科目「からだとスポーツⅠ・Ⅱ」前期・後期開講において、ジャズダンス等の現代的なリズムのダンスの基本エクササイズを用いた大学体育への取組みを実施した。ダンス・芝居・歌という表現媒体を介しバーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションを行き来する柔軟な他者との交流を体験させ、今後の学生生活や社会生活における他者との相互的関わりを表現という手法を用いて実体験させていく取組みである。「見せる見られる」という実体験を手がかりに、表現のコミュニケーション性に対する気づきを促すような機会を提供する事を目的とした活動である。
	平成 21 年４月～25 年３月	東京家政大学共通教育科目「しなやかな心とからだ」オムニバス形式授業（前期・後期開講）における他者とのコミュニケーションに着目した演劇的要素含むダンスパフォーマンス体験型授業の試みを実施した。様々な遊具を使用した遊びの展開や環境構成について、幼児体操、リズム遊びなど近隣保育現場で想定される活動を取り込み、運動発達についての意義と段階的な指導について体験的に理解すると共に、実践力に繋がるような授業を行った。
	平成 26 年４月～現在	山村学園短期大学保育学科１年後期開講「身体表現」における遊戯会、発表会等で行なわれる事が多いダンス等の「型のある身体表現」と、子ども達の日常における遊びから生まれるような即興的で「型のない身体表現」について、両側面から多角的に身体表現を捉える視点を養うと共に、具体的な活動を実践できる力を育成する事を目的とした授業実践を行った。

様式第４号（教員個人に関する書類）

	平成 26 年４月～現在 平成 26 年４月～現在 平成 26 年４月～現在	山村学園短期大学保育学科２学年共通選択科目開講「リトミック・リズム運動」において、身体表現の発展・応用的取り組みとして、ダンスの身体性・コミュニケーション性・審美性・娯楽性・情緒性をヒントに、様々なダンスジャンルについての知識提供と実践を織り交ぜた授業を行った。 山村学園短期大学保育学科２年後期選択科目「子ども文化演習 C」において、対外行事に向けて、舞台表現作品を制作しながら、子どもの心性に届く表現とはどのようなものかといった子ども理解の視点に加え、他者との協働的活動を通して自身の能力に気づき、問題解決に向かい意欲的に取り組む事も到達目標に掲げ授業実践を行っている 。 山村学園短期大学保育学科１年前期開講「幼児体育」後期開講「身体表現」では、班ごとの活動（子どもの遊び環境探し、体操、遊びうた指導ロールプレイ等）を、デジタルコンテンツを使い動画や写真に記録し、活動後すぐにそれらの情報をプロジェクターを通して全体で共有し、実感が伴った省察を行うことができる環境を整えている。また、インターネットを使って情報収集をおこなったり、同時にそれらの扱い方などを指導することで、ICT を活用した教材研究や保育実践、またそれに関わるモラルを学ぶ機会を提供している。
2　作成した教科書・教材		特記事項なし
3　教育上の能力に関する大学等の評価		幼児体育・身体表現・子ども文化演習劇など、担当する授業の学生の授業評価は 5 段階評価の４以上を過去３年間キープしていることを評価されている。また、子ども文化演習劇で行う学校行事の表現発表では、学生達の動機づけやプロセスを大切にしたファシリテーションについて評価されている。
4　実務の経験を有する者についての特記事項	平成 25 年９月 平成 27 年７月 平成 27 年８月 平成 28 年７月 平成 28 年８月	日本女子体育大学地域交流推進室公開講座キッズダンス講座講師を務める。 山村国際高等学校３年生対象出前授業「ダンスにトライ！」の講師を担当する。 十文字学園女子大学健康栄養学科自主社会活動「ダンスパフォーマンス」指導講師を務める。 山村国際高等学校３年生対象出前授業「保育・幼児教育とは」の講師を担当する。 有明教育芸術短期大学山本ゼミナール・東京家政大学花輪ゼミナール合同演劇表現学習会『おはなしいっぱい！げきまつり』の舞踊劇講師を務める。
5　その他 １．主な指導歴	平成 20 年９月～平成 25 年３月 平成 25 年９	東京都三鷹市立北野小学校地域子どもクラブ　ダンスチーム指導をする。地域の他のダンスチームと交流して行う合同発表会を年二回企画し発表の機会を提供し、企画運営は地域子どもクラブの地域の方々と協働して取り組んだ。 日本女子体育大学地域交流推進室公開講座キッズダンス講

	月～12 月	座指導をする。大学機関と地域の交流を目的とし、開講された講座である。地域公立小学校や近隣私立小学校に通う児童小学１～３年生１１名の参加がした。
	平成 26 年８月～平成 27 年８月	全埼玉私立幼稚園連合会北部ブロック新規採用教員研修会講師を務めた。100 名の参加者を対象に教員自身が心弾ませながら踊る事による高揚と楽しさを実感する事を目的に、様々なジャンルのダンスワークを提供した。
	平成 27 年１月～平成 28 年８月	日本リズムムーブメント指導者協会講習会講師を務め、生涯スポーツに焦点をあてたダンス協会にて２０～６０代と幅広い受講者に向け、シアターダンスワークショップを行った。当日は 100 人の参加があり盛況であった。
	平成 27 年６月	鴻巣市私立幼稚園協会幼稚園 教員研修会講師を務め、身体表現の理解とその指導法といった内容について、約１００名に対しワークショップを行った。ダンスを構成する要素であるコミュニケーション性・情緒性・審美性・身体性・娯楽性の５つについて理解を深めながら実技を行った。
	平成 27 年８～９月	十文字学園女子大学健康栄養学科自主社会活動「ダンスパフォーマンス」指導を務め、地域貢献活動のため新座市のイベントで、30 名ほどの学生集団がダンスを披露した。学生の取り組んでいるダンス作品について、特別講師として指導・助言を行なった。
	平成 28 年８月	有明教育芸術短期大学山本ゼミナール・東京家政大学花輪ゼミナール　合同演劇表現学習会『おはなしいっぱい！げきまつり』講師（舞踊劇）を務めた。他学の学生と協働しながら二日間の作品創作にあたり、三日目には児童館でのパフォーマンスを行った。
	平成 29 年６月	府中の森芸術劇場ふるさとホールにて、ワンダーボックス舞踊展ゲスト出演し、舞踊ソロ作品を発表した。
	平成 29 年８月	東京家政大学生活科学研究所温故知新プロジェクト「坪内逍遥が児童教育にもたらした偉業　家庭用児童劇の導入的意義」研究成果発表会をせんがわ劇場で行い、指導講師を務めた。 東京家政大学、有明教育芸術短期大学、山村学園短期大学保育科の学生と卒業生と共に、大正期に執筆された坪内の台本の劇化、及びその発表を行った。
２．主な舞台出演作品	平成 19 年１月～20 年７月	「歌舞奏スペシャル」五木ひろし特別公演出演、洋舞ダンサーとして、ショウ場面に出演した。
	平成 20 年 10 月、11 月	「春の夜の夢」東儀秀樹新春コンサート出演・東儀秀樹スペインサラゴサ万博出演した。日本最古の舞踊劇である伎楽及び天女舞を担当し舞台出演をした。東京公演、全国ツアーに参加した。また同作品でスペインサラゴサ万博にて伎楽及び天女舞を担当し披露した。
	平成 22 年６月、７月	
	平成 22 年１月	「CHICAGO the musical」出演 TBS・キョードー東京・梅田芸術劇場・朝日新聞社主催、ブロードウェイミュージ

様式第４号（教員個人に関する書類）

		カル「CHICAGO」の日本版キャストとして出演。ブロードウェイより制作チームが来日し、舞台を作り上げた。400人を超える応募者の大規模なオーディションから７名に選出され、リズ、ハニャック、ジューン、モナ、アニー役を演じた。
	平成22年３月	「Funny Girl」出演　ＴＢＳ・梅田芸術劇場主催、ブロードウェイミュージカルに主演、ポリー役を演じた。演出は宝塚歌劇団演出家の正塚晴彦であった。
	平成22年３月	「市村正親・鹿賀丈史それぞれのコンサート」出演　ホリプロ主催のコンサートにダンサーとして出演した。市村氏に関して、彼の出演作のナンバーを中心としたミュージカルショウに出演した。
	平成27年４月	ダンス作品「家族」制作・出演　神楽坂セッションハウスにて、鴨志田加奈・藤山すみれデュオ作品を制作、発表した。
	平成27年９月11日	THE HARMONY OF MUSIC AND STEPS VOL.4「HALF&HALF」出演、北沢タウンホールにて音楽家大下和人・舞踊家藤山すみれ主催の THE HARMONY OF MUSIC AND STEPS 第四回目公演にダンサーとして出演した。
	平成29年６月	府中の森芸術劇場ふるさとホールにて、ワンダーボックス舞踊展ゲスト出演をし、舞踊ソロ作品の制作と発表を行った。

職務上の実績に関する事項		
事項	年　月	概要
１　資格，免許		特記事項なし
２　学校現場等での実務経験		特記事項なし
３　実務の経験を有する者についての特記事項	平成21年９月	逗子市芸術文化事業協会・逗子教育委員会主催市民ミュージカル作品「湘南ラジオ」振付
	平成21年９月	文化庁地域文化振興施策「本物の舞台芸術体験事業」厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財「劇団かかし座アラジンと魔法のランプ」振付及びステージング
	平成24年８月	財団法人児童健全育成推進財団　児童劇巡回事業　遊育研究所素劇舎「素劇ブレーメンの音楽隊」「素劇金のがちょうワークショップ」振付及び出演
	平成25年８月～現在	文化庁文化芸術振興費助成「トップレベルの舞台芸術創造事業」「劇団かかし座オズの魔法使い」振付及びｽﾃｰｼﾞｿﾝｸﾞ
	平成26年５月	日本保育学会第67回大会「保育者養成課程におけるダンス創作と実演の取り組みに関する一考察」（口頭発表）
	平成26年８月	埼玉県私立幼稚園連合会北ブロック新規採用教員研修講師
	平成27年１月	日本ﾘｽﾞﾑﾑｰﾌﾞﾒﾝﾄ指導者協会講習会講師（シアターダンス）
	平成27年４	東京家政大学生活科学研究所客員研究委員委託（３ヵ年研

様式第４号（教員個人に関する書類）

	月 平成 27 年５月 平成 27 年６月 平成 27 年７月 平成 27 年７月 平成 27 年８月 平成 28 年５月	究） 日本保育学会第６８回大会「身体表現活動の総合的理解を目指した保育者養成校での取り組み」（ポスター発表） 鴻巣市私立幼稚園協会幼稚園教員研修会講師 鳩山町子育て支援施設つどいの広場ぽっぽ「子育て教養講座（身体あそび）」講師 子ども大学はとやま「体を使ってあそぼう」講師 埼玉県私立幼稚園連合会北ブロック新規採用教員研修講師（表現） 日本保育学会第６９回大会「学習者の創造性を涵養する授業プログラムの検討―「授業実践の意義、内容、課題に着目して―」（自主シンポジウム連名登壇者）
４　その他		特記事項なし

担当授業科目に関する研究業績等

担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著共著の別	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	概　要
保育内容表現	（教育実践記録等） １. 学習者の創造性を涵養する授業プログラムの検討–授業実践の意義、内容、課題に着目して– （自主シンポジウム登壇）	共	平成 28 年５月	日本保育学会第 69 回大会発表要旨集	子どもの心性に基づき意図を持って劇の創作実演に当たる授業の実践的研究を題材として自主シンポジウム登壇者の１人として、「学生と教員の協同について―表現発表会の経緯から考える―」というテーマで教育実践の報告を行った。(p.169)
	２.坪内逍遥が児童教育にもたらした偉業－家庭用児童劇の導入的意義	共	平成 28 年７月	東京家政大学生活科学研究所報告	東京家政大学生活科学研究所総合研究温故知新プロジェクトにおける研究テーマ「坪内逍遥が児童教育にもたらした偉業－家庭用児童劇の導入的意義」の客員研究員として平成 27 年度研究成果を報告した。執筆担当部分は遊戯の芸術化についてである。(pp.4～6) 著者：花輪充、山本直樹、鴨志田加奈、高谷温子
	（その他） 児童文化財制作作品 １.逗子市芸術文化事業協会･逗子教育委員会主催市民ミュージカル作品「湘南ラジオ」振付	共	平成 21 年９月	神奈川県逗子市文化プラザ	作品本編振付及びステージングを担当した。逗子の地域文化の今昔を題材としたミュージカルであり、公募で募集された地域住民と共に約６ヶ月かけて作品を作り上げた。小学生から 60 代まで幅広い年齢の参加があった。共同制作者：野宮安寿、花輪充、石川浩光、鴨志田加奈

様式第４号（教員個人に関する書類）

	２.文化庁地域文化振興施策「本物の舞台芸術体験事業」厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財「劇団かかし座ｱﾗｼﾞﾝと魔法のﾗﾝﾌﾟ」振付及びｽﾃｰｼﾞﾝｸﾞ	共	平成 21 年９月	神奈川県川崎市立稲田小学校　他	作品本編振付及びステージング、ワークショップにおける小学生用ダンスの振付を担当した。本作品は全国の小学校、特別支援学校、ホール等で「本物の舞台芸術体験事業」として平成25年９月まで上演された。共同制作者：後藤圭、花輪充、石川浩光、鴨志田加奈
	３．財）児童健全育成推進財団児童劇巡回事業遊育研究所素劇舎「素劇　ブレーメンの音楽隊」「素劇　金のがちょうワークショップ」振付及び出演	共	平成 24 年８月	姫路市立飾磨児童センター、相模原市立大沼こどもセンター他 11 カ所巡回	厚生労働省外郭団体である児童健全育成推進財団が実施する児童劇巡回事業において劇団遊育研究所素劇舎の作品に振付兼出演という形で参加した。対象年齢は幼児、児童である。幅広い学齢に良質な芸術体験となるよう、鑑賞・ワークショップも取り入れた芸術体験事業となっている。 共同制作者：関矢幸雄、花輪充、鴨志田加奈
	４.文化庁文化芸術振興費助成「ﾄｯﾌﾟﾚﾍﾞﾙの舞台芸術創造事業」「劇団かかし座ｵｽﾞの魔法使い」振付及びｽﾃｰｼﾞﾝｸﾞ	共	平成 25 年８月～現在	神奈川横浜市鶴見区文化センターサルビアホール　他	作品本編振付及びステージングを担当した。本作品は全国の小学校、特別支援学校、ホール等で「トップレベルの舞台芸術創造事業」として平成25年８月より上演されている。共同制作者：後藤圭、花輪充、石川浩光、鴨志田加奈
言葉と表現の指導法	（教育実践記録等） １.保育者養成におけるダンス創作と実演の取り組み―学生の学びの過程に着目したインタビュー調査―	単	平成 28 年７月	日本基礎教育学会紀要第 20 号	ダンス創作と実演における学生の学びの過程に着目した授業実践を行い、事後にインタビュー調査を行った。活動に対する学生の語りを、身体的な経験の変化に関するもの、心的経験の変化に関するものの２つに分類し、考察を行なった。 (pp.9～14)
	（教育実践記録等） １.ダンス創作活動に関する学生の語りの分析	単	平成 28 年３月	山村学園短期大学紀要第 26 号	前著「保育者養成におけるダンス創作と実演の取り組み―学生の学びの過程に着目したインタビュー調査―」の考察を深め、ダンス創作活動に関する学生の語りを丁寧に紐解き、身体的な経験と心的経験の相互作用から学生の活動過程を仮説的ではあるがモデル図として示した。また、保育者養成としての有用性といった観点も含め、より総合的な授業実践の考察を行なった。 (pp.11～51)

様式第４号（教員個人に関する書類）